

『喜多方のそば畑』

ラーメンで有名な喜多方ですが、そばもおいしい街なのをご存知でしょうか？
特に喜多方の東に位置する駒形・雄国地区は「そばの郷」として知られています。
ここでは年に2回、6月と9月に可憐な白いそばの花が一面を埋め尽くす絶景を見ることができます。打ちたてのそばを食べられるお店もあるので、そばの花と味の両方を楽しみに出掛けてみるのもいいですね。

株主の
皆様へ

第58期中間期

株主通信

2025年 春号

2024年10月1日から
2025年3月31日まで



証券コード
5724



株式会社アサカ理研

Top Message

代表取締役社長 山田 浩太



株主の皆様におかれましては、平素より当社の活動に多大なるご支援、ご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。ここに2025年9月期中間期における当社の事業概況及び今後の見通しについてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、物価上昇が継続するなか、雇用や所得環境の緩やかな改善による個人消費の増加基調及び企業収益の改善により、緩やかに回復しました。一方、米国の政策運営を巡る不確実性の意識や、地政学リスクに伴うエネルギー・資源価格の高騰等により、経済の不確実性が続いています。

当社グループにおいては、主要製品である貴金属のうち、金は米国の関税強化への不安感から安全資産として需要が高まり、ドル建て価格は過去最高値を更新する高い水準で推移し、円建て価格も前年同期を上回りました。銅の価格は、生産国からの供給不安や米国が銅に対して関税を課す動きが見られたことが影響し、ドル建て価格は高い水準で推移し、円建て価格も前年同期を上回りました。

このような事業環境のなか、既存事業では当社の技術力を活かした独自性のある商品提供による取引市場の拡大及

び収益力向上に努めました。また、製造工程の効率化によるコスト低減を強みとした新規開拓にも注力しております。

新規事業では、リチウムイオン電池(以下、LiB:Lithium-ion Battery) 再生事業の事業化に向け、研究開発及び電池メーカーとの事業スキーム確立に向けた協業に注力しました。研究開発においては、CO₂排出量の削減とレアメタルの高回収率を両立するプロセスの構築を進め、当社いわき工場への生産設備の導入を開始しました。事業スキームの確立につきましては、電池メーカーの工場において排出される工程廃材リサイクルの一部を当社が受託する覚書(MOU)に基づくビジネスモデルの実現に向け、順調に進捗しております。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご理解、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

当中間連結会計期間の概況

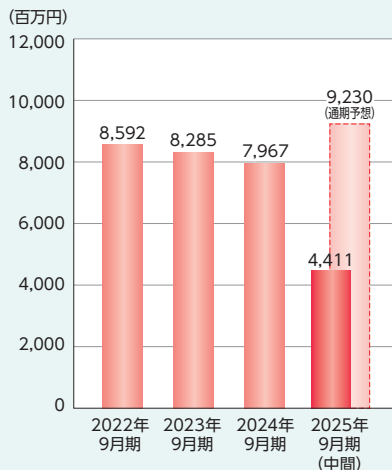
■ 当中間連結会計期間は増収減益

当中間連結会計期間の連結業績は売上高4,411百万円(対前年同期19.9%増)、営業利益246百万円(同195.7%増)、経常利益170百万円(同175.4%増)、親会社株主に帰属する中間純利益130百万円(同38.0%減)でした。電子部品の需要低下に伴う取引先の減産基調が継続するも、金及び銅の相場上昇等により前年同期比較で売上高は増収となり営業利益と経常利益は増益となりました。一方で前年同期に補助金収入による特別利益の計上があったことから、親会社株主に帰属する中間純利益は減益となっております。

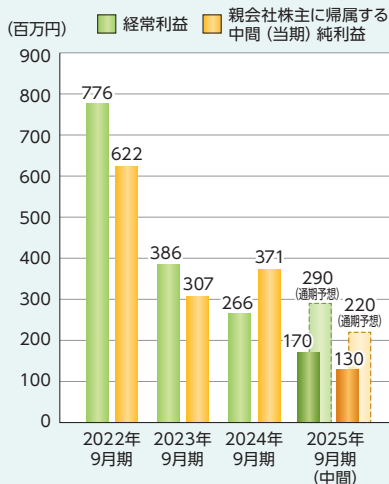
■ 2025年9月期連結業績予想に対する進捗について

当中間連結会計期間につきましては、当社の主要製品である金及び銅の相場上昇により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は連結業績予想に対し順調に進捗しております。2025年9月期下期につきましても、引き続き既存事業における取引の拡大に注力すると共に、LiB再生事業への積極投資を継続してまいります。

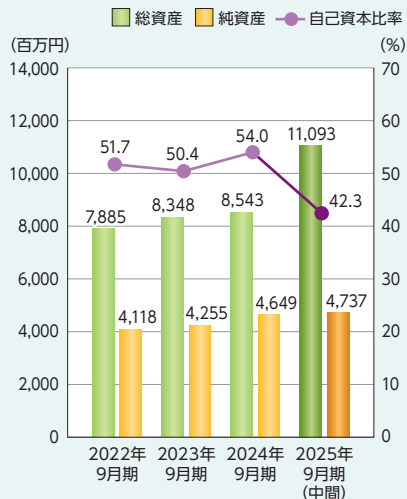
■ 売上高



■ 経常利益、親会社株主に帰属する中間(当期)純利益



■ 総資産、純資産、自己資本比率



連結財務諸表

■ 中間連結貸借対照表（要約）

(単位：百万円)			(単位：百万円)		
	当中間期末 (2025年3月31日)	前期末 (2024年9月30日)		当中間期末 (2025年3月31日)	前期末 (2024年9月30日)
資産の部			負債の部		
流動資産			流動負債	2,550	1,910
現金及び預金	2,379	1,517	固定負債	3,806	1,983
受取手形及び売掛金	341	431	負債合計 ②	6,356	3,894
棚卸資産	2,454	1,679	純資産の部		
その他	129	97	株主資本		
固定資産			資本金	504	504
有形固定資産	5,264	4,282	資本剰余金	365	369
無形固定資産	76	77	利益剰余金	3,846	3,756
投資その他の資産	449	460	自己株式	△ 129	△ 142
資産合計 ①	11,093	8,543	その他の包括利益累計額	110	121
			新株予約権	39	39
			非支配株主持分	—	—
			純資産合計	4,737	4,649
			負債純資産合計	11,093	8,543

- Point ①**

総資産は前連結会計年度末に比べて2,550百万円増加し、11,093百万円となりました。
主な要因は、現金及び預金が861百万円、棚卸資産が774百万円、その他（流動資産）が33百万円、機械装置及び運搬具（純額）が99百万円、建設仮勘定が870百万円増加し、受取手形及び売掛金が90百万円、投資有価証券が16百万円減少したことです。
- Point ②**

負債は前連結会計年度末に比べて2,462百万円増加し、6,356百万円となりました。
主な要因は、借入金が1,698百万円、借入金地金が870百万円増加し、買掛金が45百万円、賞与引当金が42百万円、その他（流動負債）が17百万円減少したことです。
- Point ③**

営業活動によるキャッシュ・フローは、309百万円の収入となりました（前年同期は500百万円の収入）。
この主な内訳は、税金等調整前中間純利益が168百万円、減価償却費が156百万円、支払利息が22百万円です。
- Point ④**

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,028百万円の支出となりました（前年同期は77百万円の支出）。
この主な内訳は、有形固定資産の取得による支出が1,022百万円です。
- Point ⑤**

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,579百万円の収入となりました（前年同期は379百万円の支出）。
この主な内訳は、長期借入れによる収入が1,800百万円、長期借入金の返済による支出が101百万円です。

■ 中間連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

	当中間期 (2024年10月1日～ 2025年3月31日)	前中間期 (2023年10月1日～ 2024年3月31日)
売上高	4,411	3,677
売上原価	3,092	2,627
売上総利益	1,318	1,050
販売費及び一般管理費	1,072	966
営業利益	246	83
営業外収益	27	8
営業外費用	103	29
経常利益	170	61
特別利益	1	244
特別損失	2	1
税金等調整前中間純利益	168	304
法人税等	38	94
中間純利益	130	209
非支配株主に帰属する 中間純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	130	209

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

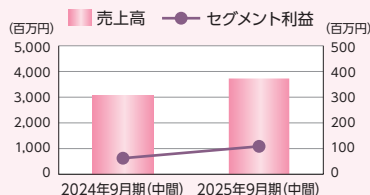
（単位：百万円）

	当中間期 (2024年10月1日～ 2025年3月31日)	前中間期 (2023年10月1日～ 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー ③	309	500
投資活動によるキャッシュ・フロー ④	△ 1,028	△ 77
財務活動によるキャッシュ・フロー ⑤	1,579	△ 379
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	861	44
現金及び現金同等物の期首残高	890	1,138
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,751	1,174

■ 事業セグメントごとの状況

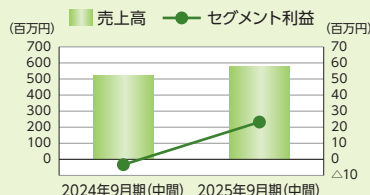
■ 貴金属事業

主要製品の金の価格が前期を上回ったことで、売上高は3,713百万円（対前年同期21.2%増）、セグメント利益は108百万円（同75.9%増）の増収増益となりました。



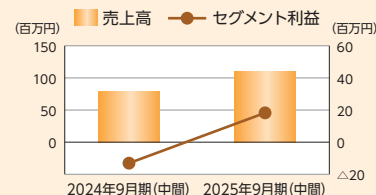
■ 環境事業

主要製品である銅の価格が前期を上回ったことで、売上高は576百万円（同9.6%増）、セグメント利益は23百万円（前年同期は2百万円の損失）の増収増益となりました。



■ システム事業

主力製品である品質管理システムの販売が増加したことにより、売上高は110百万円（対前年同期39.9%増）、セグメント利益は18百万円（前年同期は13百万円の損失）の増収増益となりました。



いわき工場の増設に向けて工事進捗中



いわき工場の建設工事の様子

当社は、廃棄された車載用のリチウムイオン電池（以下 LiB：Lithium-ion Battery）からリチウム(Li)、コバルト(Co)、ニッケル(Ni)、マンガン(Mn)などのレアメタルを回収し、再びLiBの原料として電池メーカーなどに供給する『LiB再生事業』の事業化に向け研究開発及びプラントの工事を進めています。

当社独自技術である「薬液循環工程」を用いたリサイクルにより、CO₂排出量低減、レアメタルの高回収率、処理コストの低減が実現されます。

2026年10月の試験稼働開始に向けて、生産拠点となるいわき工場に新たな生産建屋を建設中です。既存の建屋に生産設備の導入も進めており、量産稼働開始に向け着実に進捗しております。

郡山市中央図書館のネーミングライツスポンサー契約を締結

当社は、郡山市と郡山市中央図書館のネーミングライツスポンサー契約を締結し、2025年4月1日より本施設の愛称が「アサカ理研 郡山中央図書館」となりました。

図書館内には「アサカ理研常設展示コーナー」を設置し、当社の事業内容である、有価金属の回収・再生や当社の目指す循環型社会についてわかりやすく紹介するコンテンツを展示しております。展示内容は定期的に更新する予定であり、特にこれからの将来を担う子どもたちや学生の皆様に化学分野に興味を持っていただき、当社事業への関心を深めてもらえるよう創意工夫してまいります。



アサカ理研 郡山中央図書館

Information (2025年3月31日現在)

会社概要

商 号	株式会社アサカ理研
本 社	〒963-0725 福島県郡山市田村町 金屋字マセロ47番地
設 立 年 月 日	1969年8月25日
資 本 金	504,295,600円

事業内容

- ①貴金属事業／ 金地金、銀地金、白金地金、パラジウム、貴金属回収精製処理及び販売、各種治具の洗浄・再生、機能部品の再生及び販売
- ②環境事業／ 塩化第二鉄液の再生・販売、銅粉の回収、銅ペレットの製造・販売
- ③システム事業／ 自動計測検査システム、計測ネットワークシステムの開発及び販売
- ④その他の事業／ 工業薬品の運搬、廃液の収集運搬

役 員

代表取締役会長	山田 慶太
代表取締役社長	山田 浩太
取 締 役	佐久間 良一
取 締 役	佐久間 幸雄
取 締 役	市川 文子
取締役(監査等委員長)	三崎 秀央
取締役(監査等委員)	高野 俊哉
取締役(監査等委員)	末代 政輔

(注) 取締役 市川文子氏、取締役(監査等委員) 三崎秀央氏、高野俊哉氏及び末代政輔氏は、社外取締役であります。

株式の状況

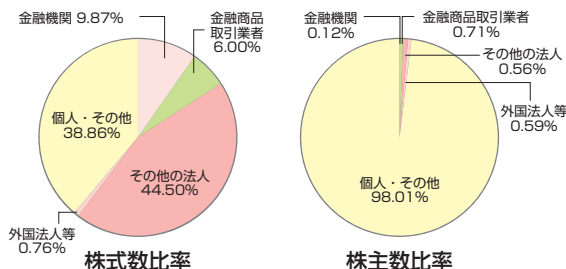
発行可能株式総数	20,400,000株
発行済株式総数	5,144,600株 (自己株式117,738株を含む)
株 主 数	3,371名

大株主の状況

株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
有限会社モラル・コーポレーション	2,102,060	41.82
白岩政一	215,100	4.28
株式会社常陽銀行	180,000	3.58
株式会社東邦銀行	162,200	3.23
日本生命保険相互会社	145,000	2.88
株式会社SBI証券	133,701	2.66
東京中小企業投資育成株式会社	100,000	1.99
楽天証券株式会社	87,200	1.73
アサカ理研社員持株会	56,748	1.13
山田慶太	33,283	0.66

(注) 当社は自己株式(117,738株)を保有しておりますが、議決権がないため、上記に含めておりません。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



(注) 上記比率は、当社保有の自己株式(117,738株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	10月1日～翌年9月30日
配当金受領 株主確定日	9月30日 なお、中間配当を実施するときは3月31日
定時株主総会	毎年12月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL:0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL:0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います 公告掲載URL https://www.asaka.co.jp/ ※ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に公告いたします。

(注1) 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

(注2) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

PICK UP!



恋人坂

「そばの郷」の雄国地区に「恋人坂」と呼ばれる坂道があります。昼に坂の上から眺める雪をかぶった飯豊連峰や会津平野の風景も美しいのですが、夕方は恋人たちだけでなく、誰にとっても郷愁を誘うなつかしい風景になります。特に田んぼに水が入った直後の季節は、鏡となった水面に夕焼けが反射するロマンチックな景色となります。

福島の旅が丸わかり!!

福島の旅

で検索

うつくしま観光プロモーション推進機構（公益財団法人福島県観光物産交流協会 内）
〒960-8053 福島県福島市三河南町1番20号（コラッセふくしま7階）
TEL：024-525-4024 FAX：024-525-4087